

JP41-22970 Y1

Brief Description of the Drawings

FIG. 1 is a side view of a pin for a drive-it of the present device; FIG. 2 is a bottom view; FIG. 3 is an enlarged sectional view of A-A line in FIG. 1; and FIG. 4 is a side view showing a driven status of the present device.

Claim of Utility Model

As described in the specification and shown in drawings, a pin for a drive-it having a small diameter portion 2 with a sharp end 1 in one end thereof and a large diameter portion 3, wherein:

a pair of projecting pawls 4, 4 are formed on both sides of the small diameter portion 2 by compressing the sides; and

each pawl 4 has a gently curved portion c having a leading end a conformed to a side surface b of the side.

紙打銃用ピン

実 願 昭 38-33250
出 願 日 昭 38.5.6
考 案 者 出願人に同じ
出 願 人 藤平晴祥
船橋市本町3の1308
代 理 人 弁理士 佐々木喜代次

図面の簡単な説明

第1図は本案紙打銃用ピンの側面図、第2図は下面図、第3図は第1図に於けるA-Aの拡大断面図、第4図は本案品の打込み状態を示した側面図である。

考案の詳細な説明

本案は紙打銃に装填してコンクリート壁等に打込まれたピンが使用中に緩み又は抜け出すことの無い様にしたもので図面について之を説明すると一端を先端部1とした小径部2と大径部3とを有する紙打銃用ピンに於て、小径部2の両側部に側部を左右から圧搾して先端aが側部の面bと一致する緩かな曲部cを有する一対の突爪4、4を形成した紙打銃用ピンに係るものである。尚図中5は大径部3の頂部に設けた凹陷部で之はコンクリート壁6に打込まれたピンに外粧板7を取付けナツ

ト8で締付ける際にピンが緩まない様に前記凹陷部5に挿込止金8の一端を挿込んで他端を握つて押える為のものである。

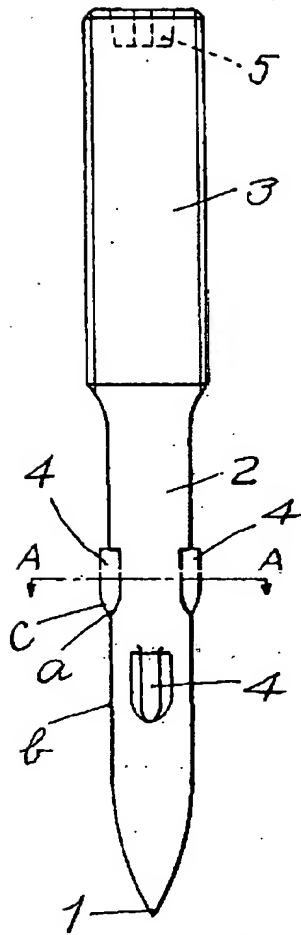
従来此種のピンはコンクリート壁等に打込まれる小径部が単なる壱状である為打込まれたピンは長期間の使用中に弛みを生じ抜け出すので外粧板7の取付けが不安定である。

本案は叙上の様に構成したので之を紙打銃に装填してコンクリート壁6等に打込む際に小径部2の両側部の一対の突爪4、4はその先端aが小径部2の側部の面bと一致し且緩かな曲部cを有している為コンクリート壁6に打込まれ易く、又一旦打込まれたピンは該突爪4の後端が壁内部のコンクリートに係止される為之に外粧板7を取付けければ長期間の使用によく耐えて弛みを生ずることがないので抜け出す虞れもなく従つてその取付けが安定されると同時に本案はピンの小径部2の側部を上下から打圧機等で圧搾して左右一対の突爪4、4を形成するものである為加工が容易で量産に適するものである。

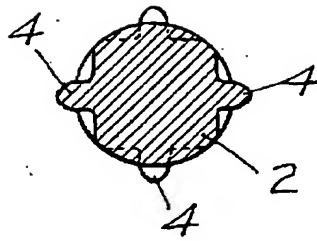
実用新案登録請求の範囲

本文に詳記し図面に示す様に一端を先端部1とした小径部2と大径部3とを有する紙打銃用ピンに於て、小径部2の両側部に側部を左右から圧搾して先端aが側部の面bと一致する緩かな曲部cを有する一対の突爪4、4を形成した紙打銃用ピン。

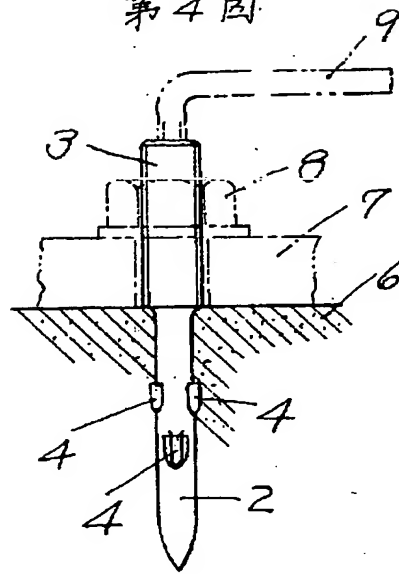
第 1 图



第 3 图



第 4 图



第 2 图

